第2740地区 創立／1990年9月29日 認証／1990年10月22日

佐世保中央ロータリークラブ週報

会長：西村 浩輝／副会長：山瀧 正久／幹事：野村 和義

2013～2014年度RIテーマ
ロータリーを実践し
みんなに豊かな人生を

2013～2014 年度クラブスローガン

『淡々とロータリーを楽しむ』
ありがとうの心で

〒857-0872長崎県佐世保市上京町3-2セントラルホテル佐世保419号室 TEL.0956-25-5595 FAX.0956-25-3445 Mail.chuo-rc@theia.ocn.ne.jp

本日の出席率７５．０%: 会員数４０名・出席２８名・欠席１０名・出席規定免除会員（２） ２名・ビジター４名
前々回の修正出席率１００%: 出席２９名・メークアップ９名・出席規定免除会員（２） ２名

会長挨拶／西村 浩輝君



皆さんこんにちは。寒くなったり暖かくなったり体調に気を付けていただきたいと思います。今日の例会は、がんばくん・らんばちゃんの参加で賑やかになりそうです。

11月23日に中央会のコンペがありました。2度目ということで少し余裕があるかなと思って、デジカメで朝から撮りまくっていたのですが、プレーが始まると余裕がなくなりました。昼食は担担麺を淡々と食べて、アウトを廻ってきたのですが身体は淡々でなくガタガタになりました。

会員増強特別委員会が昨日開かれました。田雑委員長の元、委員の皆様の熱気が会員増強について会員皆様の意識づけができていると思われます。先日、今年度3人目となる入会候補者の面接をさせていただきました。「明るく楽しいロータリークラブと聞いている」と言われてますので嬉しい限りです。1 月入会を目指しております。今後も会員増強を淡々と進めていきたいと思っています。皆様のご協力宜しくお願いします。

今日はがんばらんば体操を体験し、この冬を元気に過ごしていただくつもりでしたが、ミュージックの用意がないということなので、テレビでがんばらんば体操を見て、身体を動かし、この寒さを乗り切りましょう。ありがとうございました。

本日のビジター紹介

佐世保ロータリークラブ	河原 忠徳様
佐世保南ロータリークラブ	柳田 昌洋様
佐世保西ロータリークラブ	江口 圭介様
	吉武 直亮様

Report 幹事報告／野村 和義君

1．例会変更
北松浦ロータリークラブ
12月 3日（火）→12月 7日（土）18：00～
サンパーク吉井 年末家族懇親会のため
佐世保東南ロータリークラブ
12月 4日（水）12：30→19：00～
しぐれ茶屋 忘年会の為
平成25年12月25日（水）休会 定款第6条第1節により
佐世保北ロータリークラブ
12月 9日（月）18：30～
ホテルオークラJRハウステンボス 忘年家族会の為
平成25年12月30日（月）休会 定款第6条第1節により

2．来 信
・ガバナー事務所
1）12月のロータリーレートのお知らせ 1ドル＝100円
2）新寄付送金明細書
・ガバナーエレクト事務所
1）次年度地区社会奉仕委員会委員長推薦のお願い
2）次年度地区行事日程のお知らせ
地区チームリーダー研修セミナー 2月23日（日）
会長エレクト研修セミナー 3月15日（土）
地区研修・協議会 4月27日（日）
地区大会・本会議 11月16日（土）
・佐世保西ロータリークラブ
クラブ事務局の移転並びに例会場変更のお知らせ
事務局 佐世保市上町2－12 建設会館内
例会場 セントラルホテル佐世保
・学校法人聖和女子学院
創立60周年記念誌

3．伝達・依頼
・12月4日（水）のきらきらチャリティ大パーティー のご参加を宜しくお願い致します。

committee 委員会報告

宮崎正典 中央会幹事
11月21日の第2回中央会は無事終了することができました。ご参加頂いた皆様、ありがとうございました。 12月22日の第3回中央会の参加も重ねてお願いします。

週報製作：会報・出席委員会／池永 隆司、長富 寿人、牟田 憲市、鶴田 明敏、古川 直記、糸瀬 新

《ロータリー情報・ロータリー財団とは 》

前田眞澄 クラブ管理委員会委員



ロータリー財団とは

ロータリー財団の正式名称は、「国際ロータリーのロータリー財団」です。ロータリーの奉仕の信奉する点では国際ロータリーもロータリー財団も一体のものです。「ロータリークラブは、場所を問わず一つの基本的理想を持っている。」それは奉仕の理想で、他の人々を思いやり、他の人々の役に立つことです。と書かれています。「奉仕の理想は人々をつなぐ真の絆です。奉仕とは、単によいことをするだけでなく、人々の役に立つことです。世界では人々が異なる言語を話し、異なる食事をし、異なる衣服を着て、異なる宗教を信奉しています。こうした人々を結び付けるには、強力な絆が必要です。ロータリーでは、その絆が超我の奉仕と言う理想なのです。」

ロータリー財団の発足

ロータリー財団の創始者はアーチ・クラフと言われています。1912年から1913年にかけて、アーチ・クラフはクリーブランドの RC 会長を務めました。その会長時代、クラブ会長スピーチで今後、クラブが多くのことができるように「非常時基金」を作ることを提案しました。「非常時基金」の提案は、4年後6人目の RI 会長に就任したアーチ・クランフがアトランタ国際大会で「ロータリーが基金を作り、世界的な規模で慈善、教育、その他の社会奉仕の分野で、何か良いことをしようではないか」と提案しました。数カ月後に、この新しく誕生した基金は米貨26ドル50セントの最初の寄付金から始まりました。この基金がやがてロータリー財団に発展していったのです。それは各地のロータリアンが目先の世界の出来事に目を奪われている第1次世界大戦中のさなかにロータリー財団の原形が誕生しました。財団が最初の補助金を授与したのは1930年代の世界大恐慌の時でした。

財団の発展

1947年1月、ポール・ハリスが亡くなりました。その時、70ヶ国以上30万人以上のロータリアンが創始者の死を悼み多額の寄付が国際ロータリーに寄せられました。これを機にポール・ハリス記念基金が作られ、財団に米貨で130万ドル以上が寄付されました。同時期の1947年には最初の財団プログラムが実現されました。財団の発展は、プログラムを開発したときに始まりました。財団のプログラムは、ロータリアンの望みに応え、変わりゆく世界のニーズに対応すべく進化を遂げていく必要があります。本年度から始まった新補助金制度も2008年6月のRIの理事会でロータリー財団の未来の夢計画プログラムが採択されたものです。

(^_^) ニコニコボックス

佐世保ロータリークラブ　河原忠徳様

こんにちは。佐世保中央ロータリークラブの例会へ初めて参りました。本日はお世話になります。

佐世保南ロータリークラブ　柳田昌洋様

今日はお世話になります。

佐世保南ロータリークラブ　田中尚子様

本日はお世話になります。

佐世保西ロータリークラブ　江口圭介会長・吉武直亮幹事

12月より当セントラルホテルで例会を開かせてもらう事になりました。暖かくお迎え頂きありがとうございます。個人的にはメーキャップが同じ場所で出来、大変助かります。今後ともご迷惑がかからないように注意していきたいと思います。引越しそばの代わりにニコニコに致します。

西村浩輝会長・山瀧正久副会長・野村和義幹事

大分寒くなり、秋を飛び越えて冬になりました。皆様体調管理にはくれぐれも気を付けて下さい。本日の卓話は佐世保市国体推進室 室長 金子淳一郎様の来年に迫りました「長崎がんばらんば国体」のお話です。最後まで宜しくお願い致します。

坂井智照君

前日の中央会、馬券では勝ちましたが、ゴルフでは負けました。残念 !!

宮崎正典君

先日の中央会では、ハンディキャップのおかげで優勝させて頂きました。平岩さん、糸瀬さんすみません。やはり一緒に廻った長富さん、牛島さん、井上さんのおかげです。12月の忘年中央会も重ねてお願いします。

糸瀬新君

先日の中央会で準優勝する事が出来ました。又、馬券も当たって万万歳でした。ありがとうございました。

川島千鶴君

久しぶりの例会参加になりました。先日の社員招待映画例会でもたくさんお世話になりました。また、結婚記念日のブリザード…誕生日に届きました。誕生日祝いも今日プレゼントして頂きました。ラブリーカップルもいないし、小泉進一郎氏との2ショットの写真でも入れましょうかね。ニコニコします。

馬場貴博君

11月の誕生日祝いありがとうございました。私事ですが、次男の結婚が決まり、1月からは私の会社に入ることになりました。嬉しいのでニコニコします。

本日の合計	19,000 円
本年度の累計	448,000 円

本日の卓話

《ゲスト卓話》



佐世保市国体推進室
室長 金子淳一郎様

皆様こんにちは、わたくし佐世保市国体推進室の金子でございます。本日は佐世保中央ロータリークラブの例会で、国体のお話をさせていただく機会をいただき誠にありがとうございます。国体のマスコットキャラクター「がんばくん」「らんばちゃん」も駆けつけていますので、どうぞよろしくお願いいたします。

早速国体のお話に入って行きたいと思います。お手元に配布しているレジュメと資料及びスライドを使って、内容は大きく四つに分けてお話しを進めて参ります。

先ず「国民体育大会の概要」についてお話いたします。
【資料参照】
国体は、スポーツ基本法第26条に明記された大会で、公益財団法人日本体育協会、国、都道府県の共催となっています。開催の主な目的は、一つ目に、国民の間にスポーツを普及し、国民の健康増進と体力の向上を図る。二つ目に、地方スポーツの振興と地方文化の発展に寄与し、国民生活を明るく豊かにしようとするものです。

次に主な歴史は、
①昭和21年、京阪神地方において第1回大会開催
②第3回大会から都道府県対抗方式が確立（天皇杯・皇后杯）
③第24回大会は「創造国体」をテーマとして長崎県で開催
④第43回大会から二巡目入、全国を東・中・西地区に分け順に開催
⑤第63回大会からコンパクト国体を実践（国体改革2003）
となっています。

次に、スライドを使って「第69回国民体育大会」「第14回全国障害者大会」の概要をご説明いたします。【スライド参照】

最後に天皇杯について、お手元の資料を使ってお話しいたします。【資料参照】
天皇杯得点の算出方法は、参加得点と競技得点を合計したものです参加得点は、参加した各競技に10点が与えられ、開催県は40競技すべてに予選無しで参加できるため、400点を獲得することができます。また、競技得点は各種や各種別の入賞者（8位まで）に与えられます。

長崎県は、今年の東京大会で10位となり、来年の本大会では天皇杯得点2,600点以上をめざし、選手の育成・強化等の競技力の向上に力をいれているところです。

皆様の温かいご声援とご支援をいただき、「長崎がんばらんば国体・大会」の成功を期したいと思いますので、今後ともよろしくお願いいたします。
本日は誠にありがとうございました。







ＳＡＡ：大久保厚司君
次回例会／１２月５日１２：３０～
次回献立／季節の弁当